



2023年12月期 第1四半期決算説明会資料

株式会社オプトラン
2023年5月12日



I

2023年12月期第1四半期実績

II

トピックス



I

2023年12月期第1四半期実績

2023年12月期第1四半期実績のポイント

【全体】

- ALD装置を中心に新型装置売上が順調に進捗。
- 自動車・半導体・LED向け等、スマートフォン以外の幅広い分野で、当社新型装置を中心に販売は好調、売上分野の多様化に貢献。
- スマートフォン市況が世界的に停滞する中においても、カメラモジュールに加え、タッチパネル向け等で、北米関連以外の顧客層でも新たな受注を獲得。

【売上高】 90億円(前年同期比77.1%増) 新型装置比率37.1%

- スマートフォン:カメラ高機能化を支えるALD装置販売増加
- IoT:自動車分野、車載カメラやヘッドアップディスプレイ幅広く販売

【営業利益】 26億円(前年同期比253.1%増)

- 利益率の高いALD装置が寄与。販管費比率も予算内、営業利益率向上。

【当期純利益】 14億円(前年同期比133.0%増)

- ヘッジ目的の為替予約評価損8億円計上(ドル高継続の中で、年間を通じての売上高への計画比プラス効果は、為替予約評価損を上回る)

【受注高】 95億円(前年同期比30.7%減) 新型装置比率9.6%

- スマートフォン:タッチパネルやカメラモジュール向け多数受注
- IoT:自動車分野ダッシュボード、車載カメラやヘッドアップディスプレイ向け受注
- ALD装置:半導体やその他分野での受注獲得

業績ハイライト



(単位:億円)

	2022年12月期 第1四半期実績	2023年12月期 第1四半期実績	前年同期 増減率	2023年12月期 業績予想
売上高	51	90	77.1%	355
売上総利益	21	45	115.3%	—
	(41.5%)	(50.5%)	—	—
営業利益	7	26	253.1%	86
	(14.5%)	(28.8%)	—	(24.2%)
経常利益	11	18	64.4%	86
	(21.6%)	(20.0%)	—	(24.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	14	133.0%	62
	(11.8%)	(15.5%)	—	(17.5%)
研究開発費	6	10	44.3%	34
	(13.6%)	(11.1%)	—	(9.6%)
設備投資額	6	6	6.3%	56
受注高	138	95	△30.7%	—
受注残高	368	374	1.7%	—

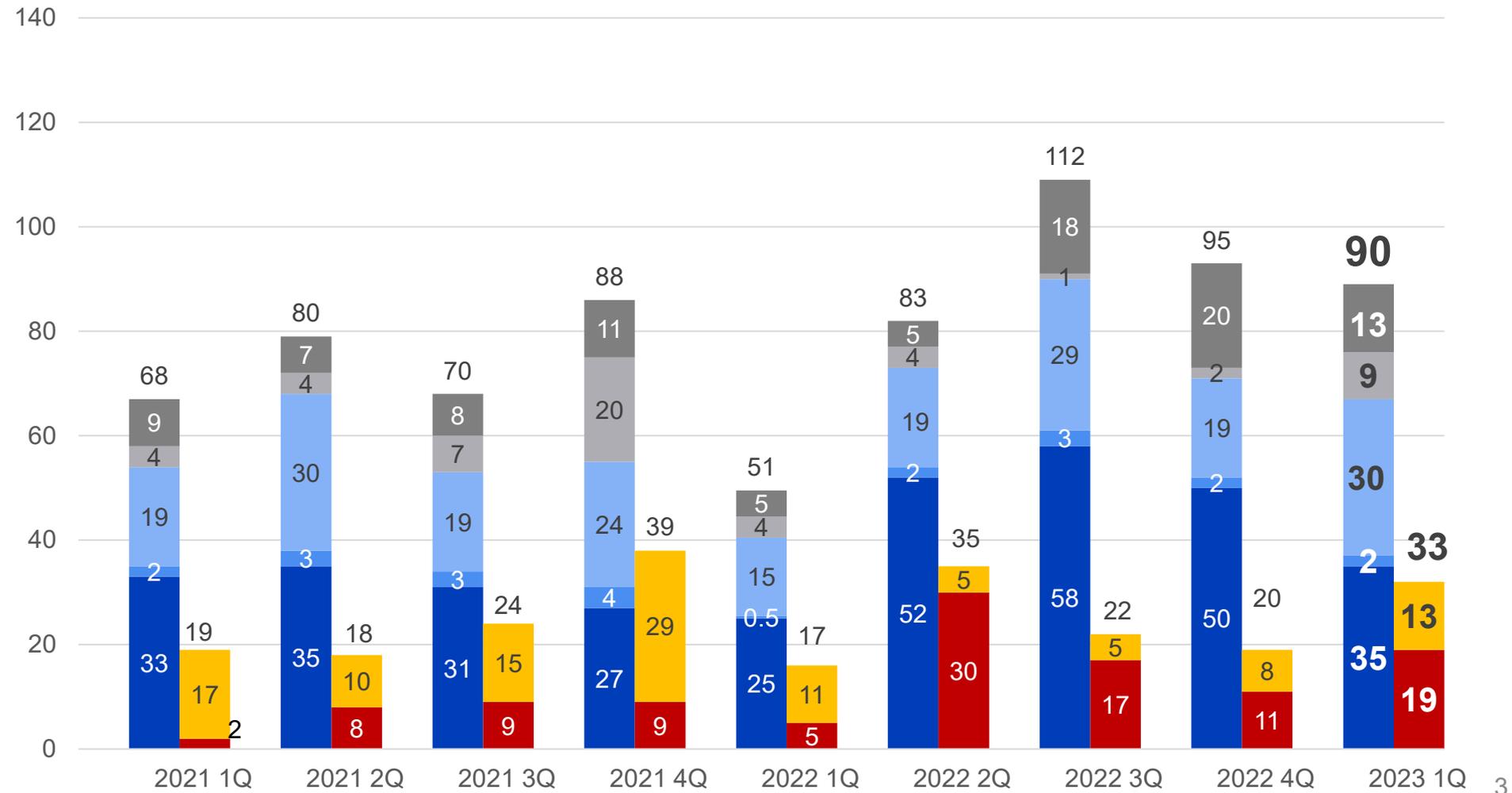
(注) カッコ内%は売上高に占める割合

分野別売上高四半期推移

- IoTが自動車向けを中心に順調に推移
- 新型装置比率が37.1%に上昇。ALD装置以外にも自動車、LED向けが好調
- 半導体光学融合関連売上は、約16億円

(単位:億円)

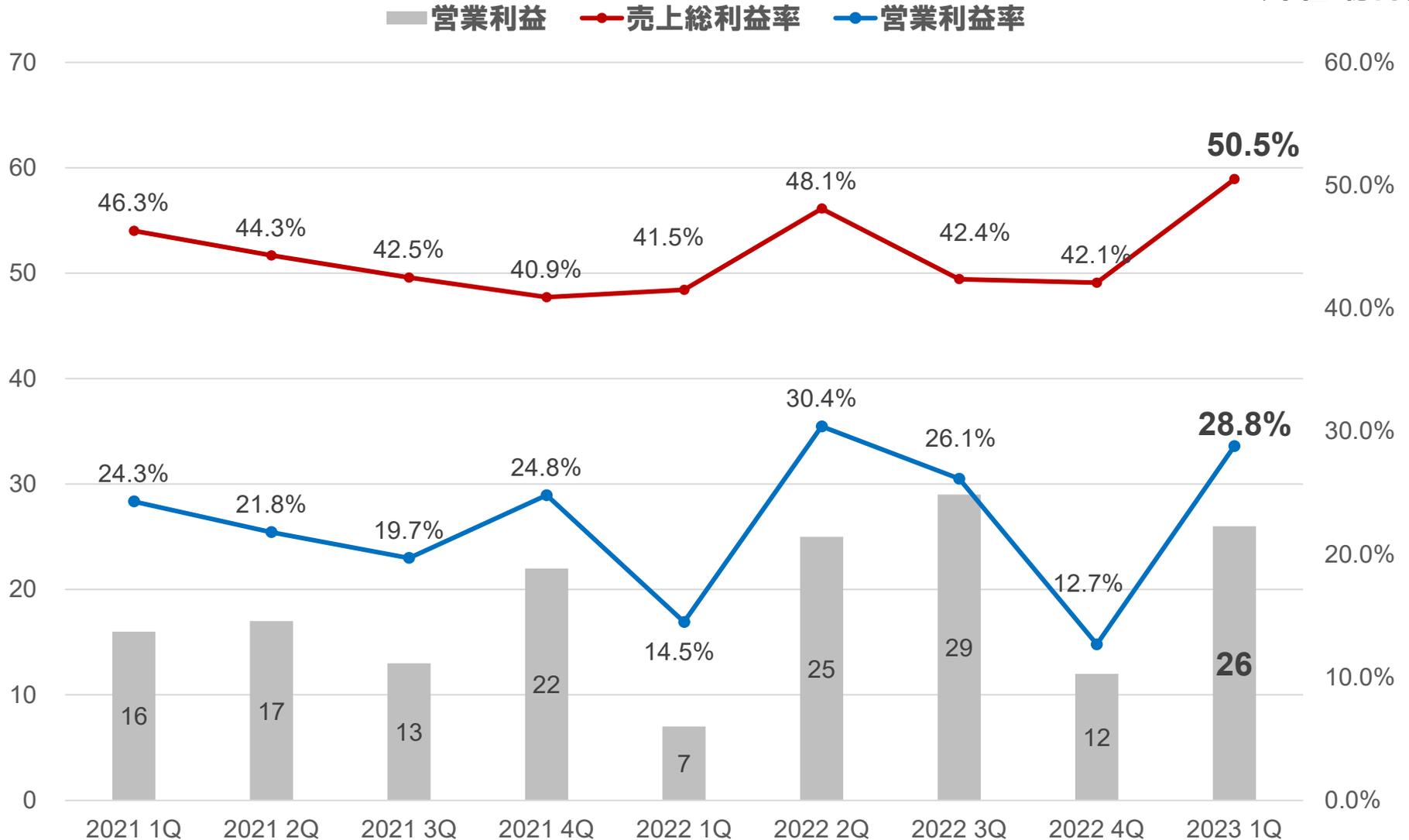
■スマートフォン ■カメラレンズ ■IoT ■LED ■その他 ■ALD ■新型装置(ALD除く)



営業利益・売上総利益率・営業利益率四半期推移

新型装置比率上昇に伴い、粗利率50%超を実現

(単位:億円)

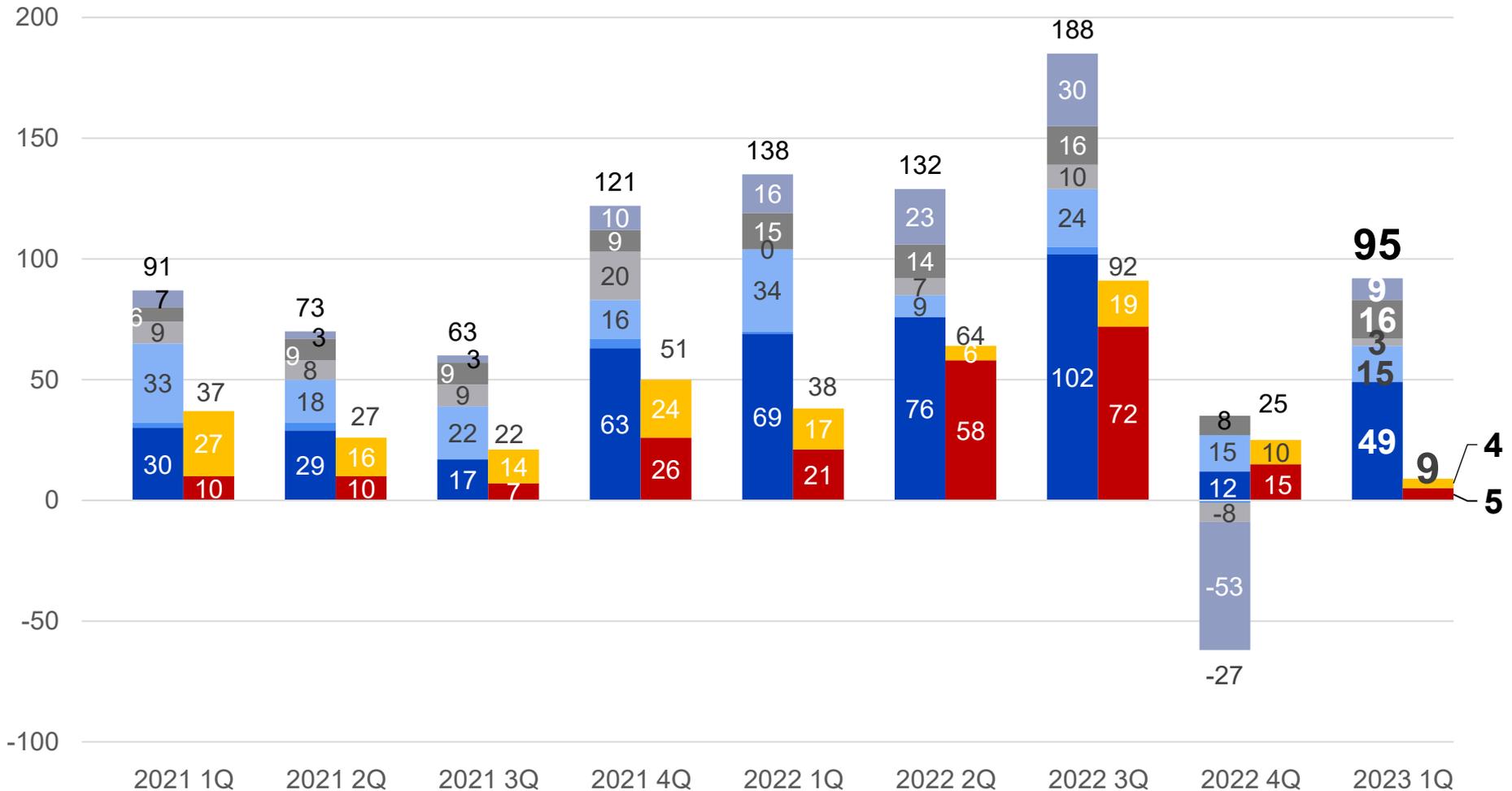


分野別受注高四半期推移

- スマートフォンは、タッチパネル向け大型受注獲得
- IoTは、車載カメラ/ヘッドアップディスプレイ向けが堅調
- 半導体光学融合関連受注は、約18億円

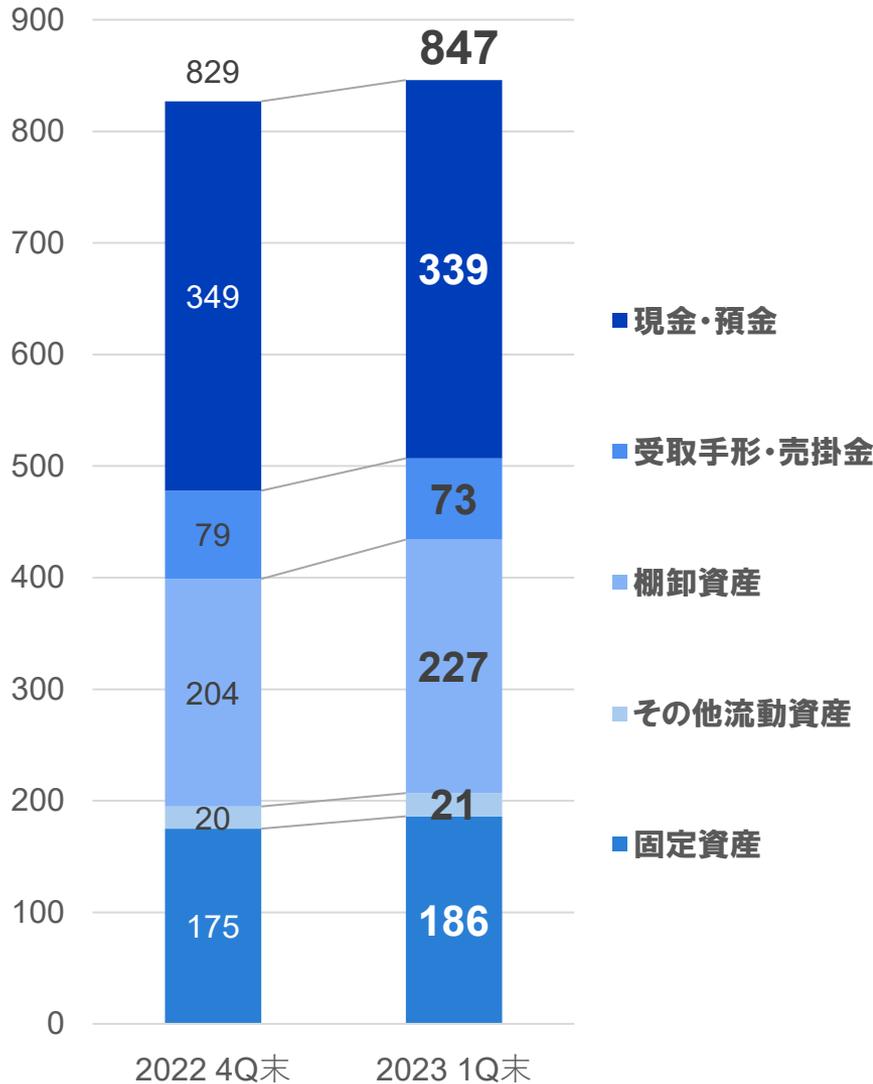
(単位:億円)

■スマートフォン ■カメラレンズ ■IoT ■LED ■その他 ■為替影響 ■ALD ■新型装置(ALD除く)



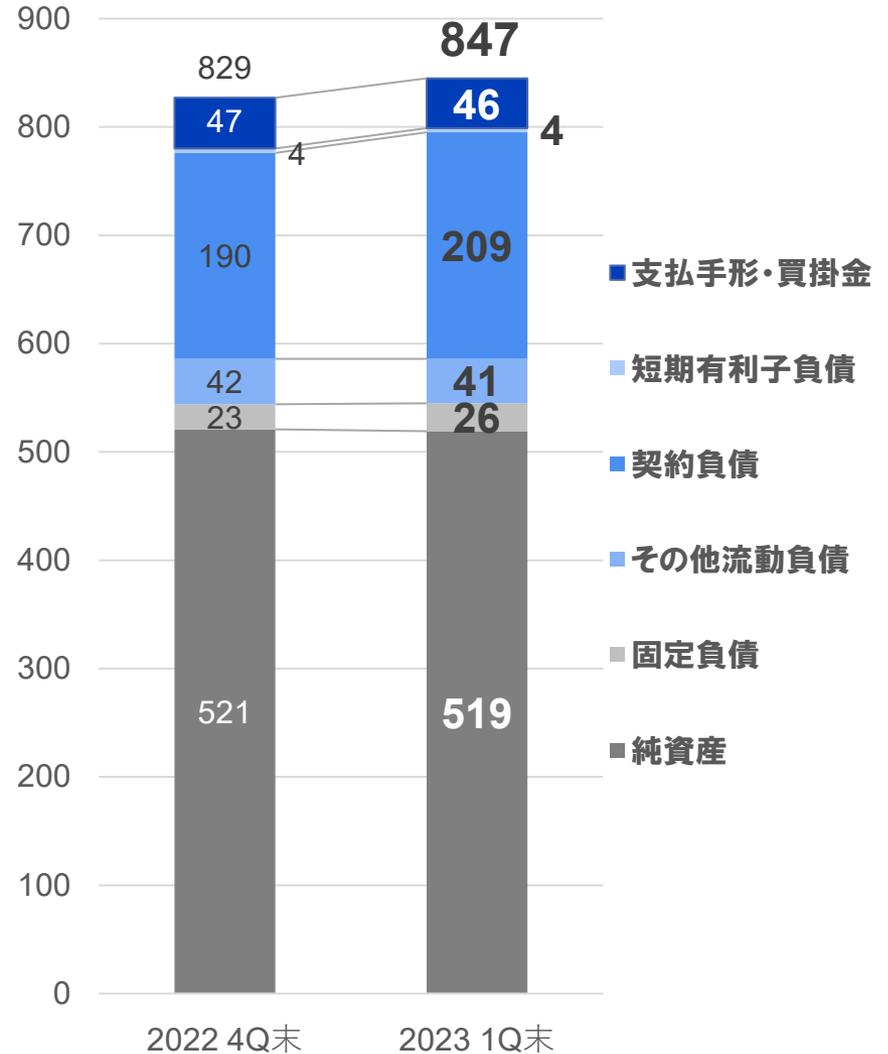
連結貸借対照表

資産



負債・純資産

(単位:億円)





II

トピックス

本社 鶴ヶ島



- 半導体光学融合・電子デバイス等
先端分野研究開発(夏頃順次運用開始予定)

ベトナム ハノイ近郊



- 装置設計・東南アジアの顧客への
装置据付・保守修理、部品加工販売
(秋頃稼働予定)

半導体技術公司 上海



- ALD装置等の新技術装置の生産・
研究開発(秋頃竣工予定)

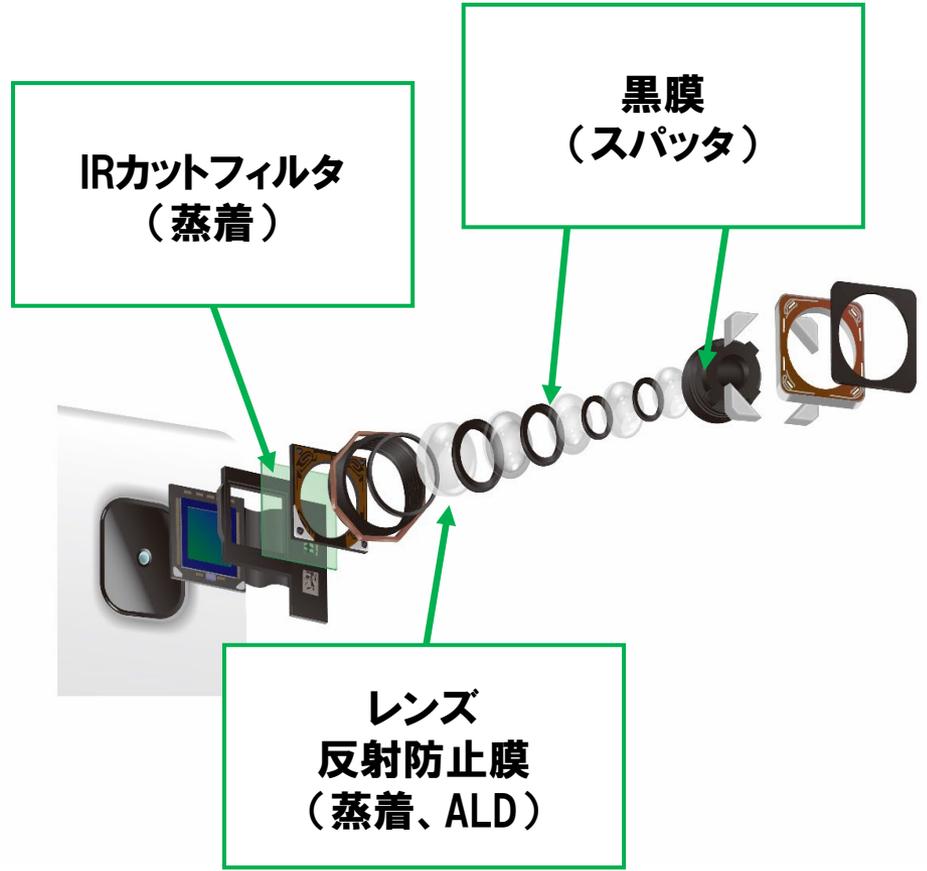
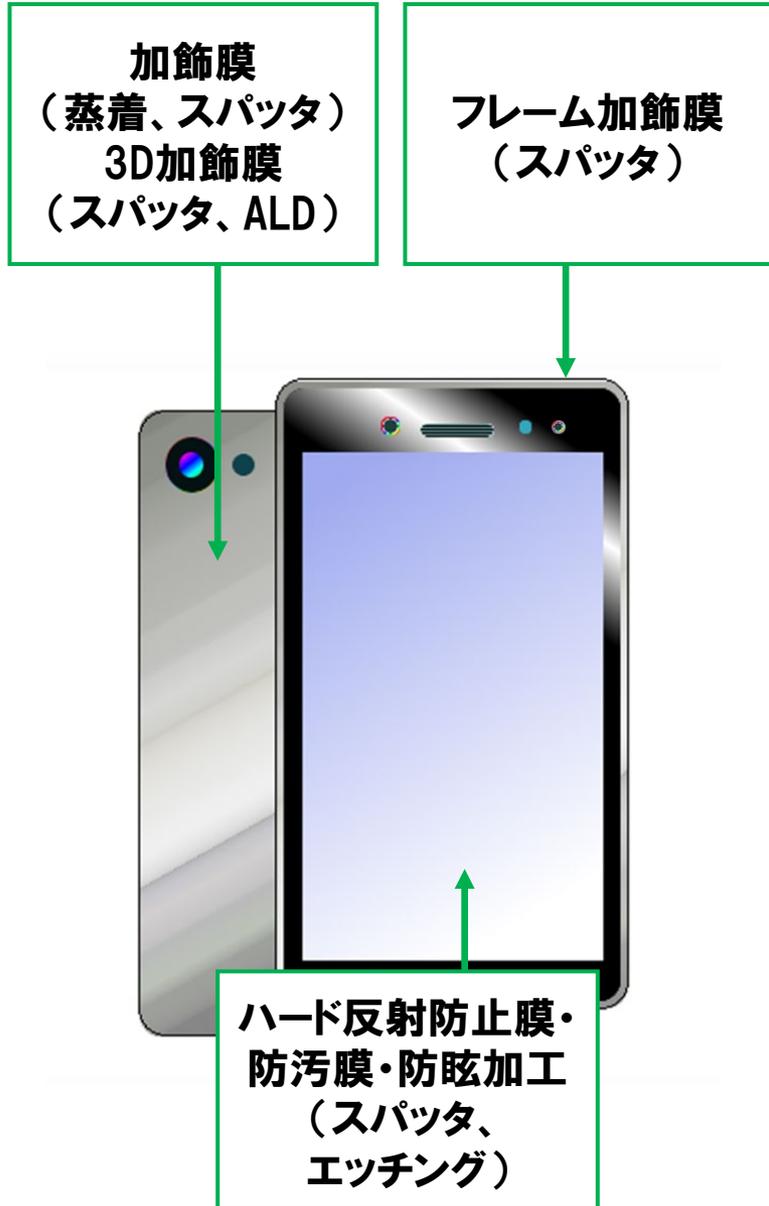
事業環境・事業状況を見ながら
装置生産も視野

3Dや半導体光学融合の先端技術に対する需要は拡大傾向

- スマートフォンカメラの高機能化
- 自動車ディスプレイ高機能化、各種カメラ・センサ搭載数増
- AR/VR技術進化余地大(成膜ニーズ大)

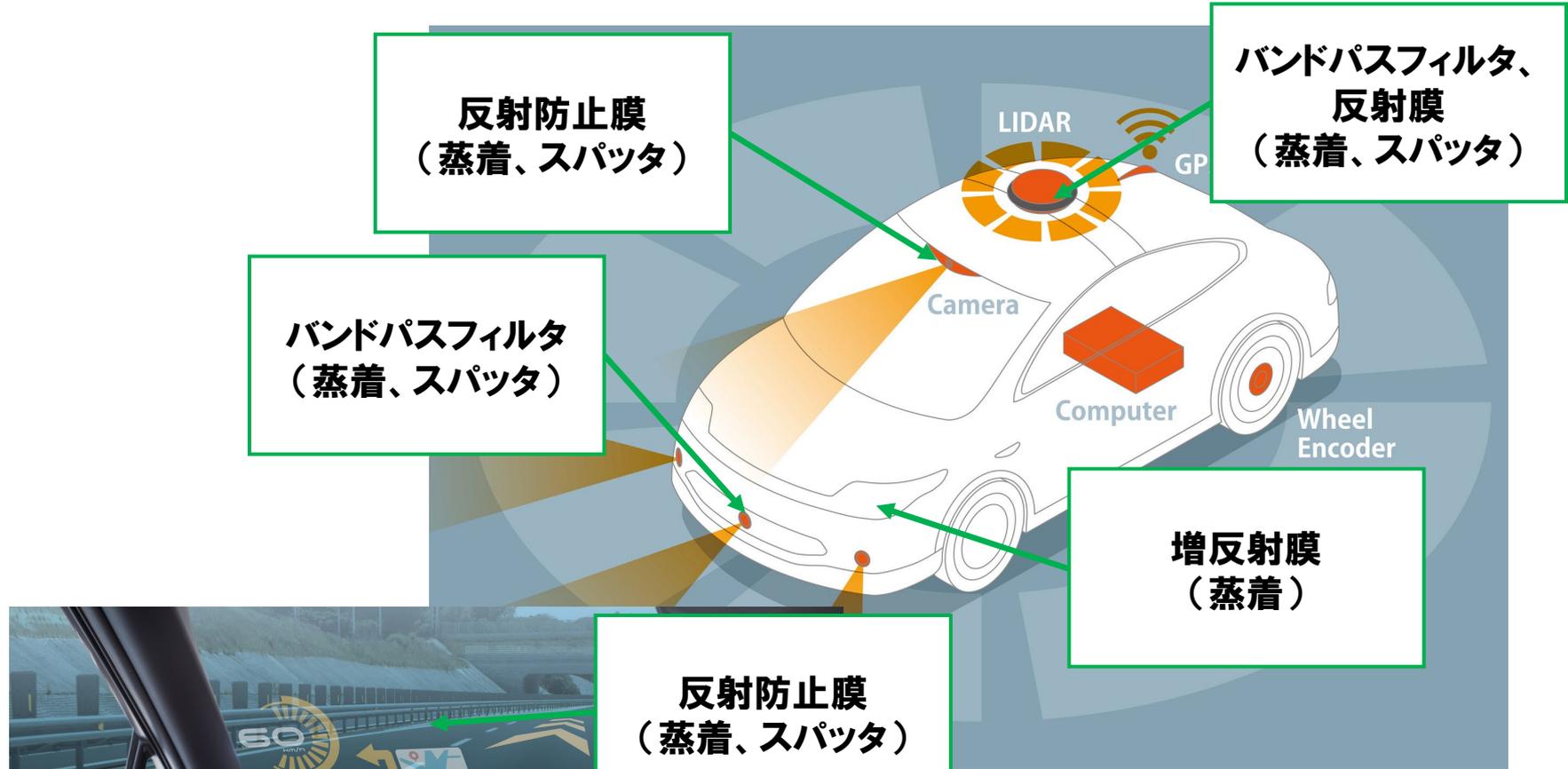
スマートフォン	世界的に買い替え需要が落ち着いている中においても、ハイエンド機種での機能向上需要は強い。 カメラモジュール： 大判化や新たなカメラ機能を搭載する比率が上昇する動き
自動車	車載カメラ：安全装置搭載ニーズの拡大、自動運転レベル向上に伴い、1台当たりカメラ搭載率上昇 車載ディスプレイ：タッチパネル化 LIDAR・ミリ波レーダー： ADASシステム搭載車増加、自動運転高度化により拡大
AR/VR	ヘッドマウントディスプレイ：個人を中心に拡大基調 VRゲーム等がメイン、B to BでのVRTレーニング需要見込む スマートグラス：個人・ビジネスとも今後拡大 ハンズフリーでの作業可能、遠隔作業支援

成膜・装置 スマートフォン

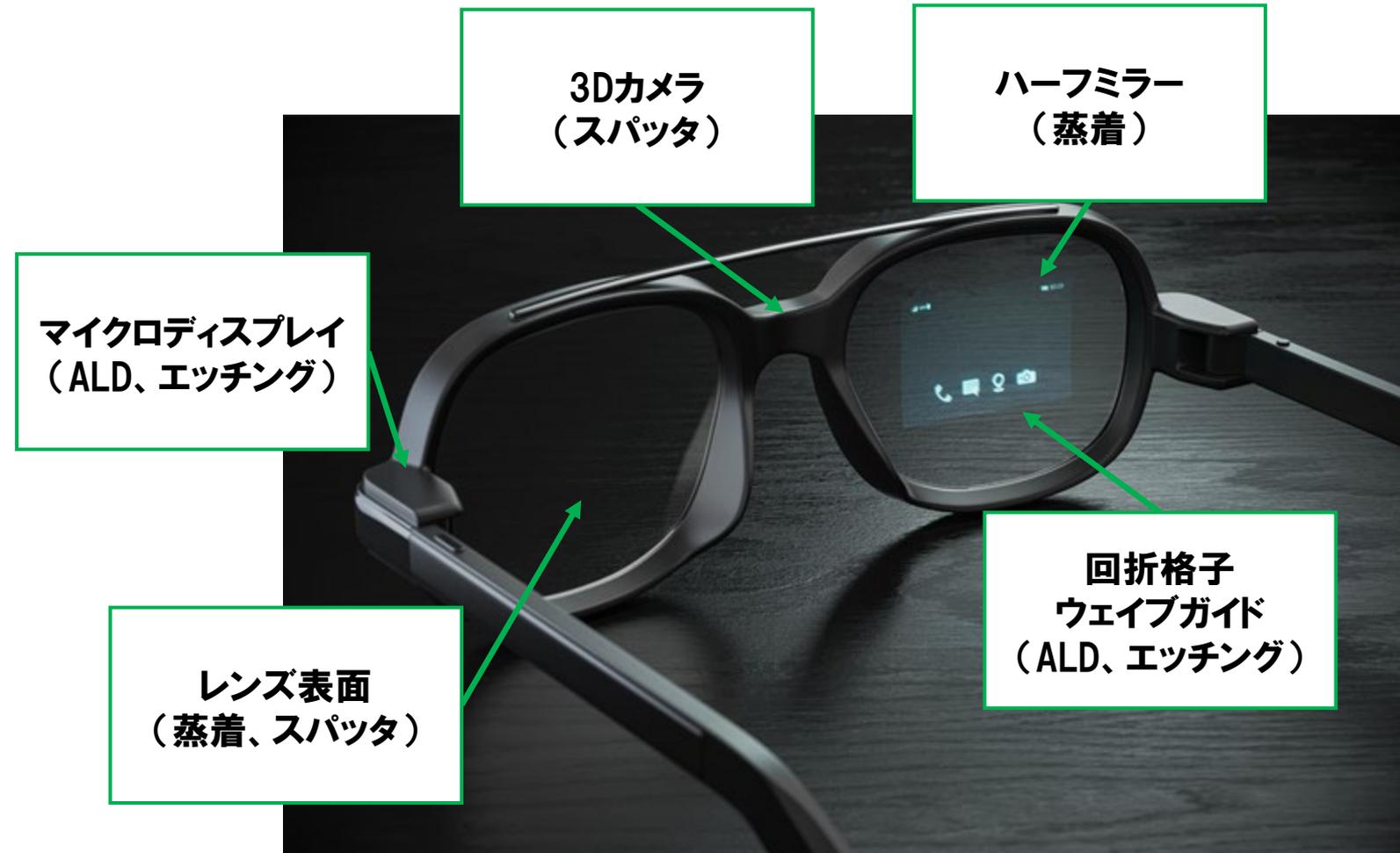


スマートフォンの高機能化ニーズは、
多様な機能で進む

成膜・装置 自動車



自動車のセンシング機能増強は、
成膜ニーズを押し上げる



AR/VRでの技術革新は、
微細加工・3D成膜が支えていく

中期ビジョン

- 半導体光学融合、さらには電子デバイスも加え、事業領域を拡大
- スマート社会への貢献

光学

半導体光学融合

電子デバイス

■光学部品

- ・装飾膜・レンズ・ミラー
- ・光学フィルタ



■Smart Phone

- ・カメラモジュール・筐体
- ・ディスプレイ・光学センサ



■自動車

- ・インストルメントパネル
- ・ADAS・ディスプレイ・センサ

■イメージセンサ



■AR/VR Device

- ・スマートグラス
- ・ヘッドマウントディスプレイ

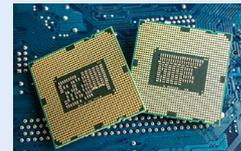


■光電子

- ・Mini LED
- ・Micro LED
- ・LD/VCSEL

■通信 Device

- ・BAW/SAW
- ・RF Device



■新エネルギー

- ・太陽電池
- ・リチウム電池
- ・パワーデバイス

■MEMS Device

- ・マイクロミラー
- ・ジャイロスコープ
- ・加速度センサ

当資料に記載された内容は、2023年5月11日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【問合せ先】

E-mail: ir-info@optorun.co.jp TEL: 03-6635-9487